福岡県志免町議会

令和8年(2026)
11月1日発行
NO.118

しめ議会だより

9月定例会



特集

令和7年度決算

町の今と、これからを考える

- 決算主な事業
- 議員5人がズバリ! 町政を問う
- 委員会レポート 各委員会の活動を紹介

志免町議会年末感謝祭

議場コンサート案内

～志免吹奏楽団による心あたたまるひととき～



間の会期で開かれました。議案10議案が上程され委員1名、志免町選挙管理委員会委員4名及び同補2日間で5人が行いました。

会計 決算

過去最大規模の決算

4,440万円 認定

全員賛成 可決

令和7年度一般会計

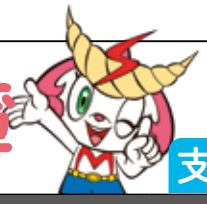
- 歳　入 214億4,440万円
- 歳　出 206億4,070万円
- 実質収支額 6億9,645万円の黒字を確保
- 町　税 決算額 65億2,967万円
  前年度比 3億8,441万円 増
- 町税収納率 99.36%（現年度）
- 国民健康保険税収納率 92.79%（現年度）

に例えてみました！

で割ったものになります。



家計簿



支出（歳出）

支出項目	令和7年度		令和6年度
食費（人件費）	64万円	↑	60万円
医療費（扶助費）	141万円	↑	136万円
水道光熱費、日常品の購入（物件費）	93万円	↑	72万円
子どもの学費・仕送り（補助費、繰出金）	103万円	↑	92万円
家の増改築（普通建設費、災害復旧費）	66万円	↑	58万円
家電、車の修理（維持補修費）	3万円	←	3万円
会社への出資（投資、出資、貸付金）	1万円	←	1万円
ローン返済（公債費）	24万円	↑	22万円
貯金など（積立金）	22万円	↑	18万円
合　計（総額206億4,070万円）	516万円		463万円

議長に就任して4回目となる決算審査を終えました。就任当初より、「決算審査は、予算審査以上に重要」という考えで取り組んできました。

事業の必要性や費用対効果を検証し、次の予算や施策につなげる重要な機会です。

これまで、適切かつ効率的な審査を目指し、進め方や環境を見直してきました。

その積み重ねにより、審査の質も高まったと感じています。

町民センター改修や小中学校体育館への空調整備など、大型事業が形になる一方、地方債残高は約9億円増加。

基金（貯金）は約81億円、地方債（借金）は約108億円です。

必要な事業には地方債を活用し、将来への備えとして基金も確保する。そのバランスが重要です。

また、黒字や税収増を、物価高騰への対応や町民ニーズに応える施策として還元する視点も必要です。

「整備して終わり」ではなく、成果を検証し、次の予算、次のまちづくりへつなげる。

改めて、決算審査の重要性を感じています。



丸山 卓嗣議長

9月
定例会

9月定例会は、9月4日から17日まで14日
議案10議案が可決。人事案件（教育委員会
充員4名）９件に同意しました。一般質問は

令和7年度 一般

住民サービスの充実へ

一般会計 214億

町の決算を家計

※町の一般会計総額を4,000



基金（貯金）と地方債（借金）の状況

- 基　金 81億7,642万円
- 地方債 108億８,835万円
  （うち臨時財政対策債　47億5,985万円）
  ＊臨時財政対策債とは…国からの地方公共団体に交付される地方交付税の財政不足を補うために、地方公共団体が借金をしてまかなう町債で後に地方交付税として補填される
- 実質収支比率 6.6%
  ＊実質収支比率とは…決算剰余または欠損の状況を財政規模と比較したもの
- 経常収支比率 88.8%
  ＊経常収支比率とは…財政構造の弾力性を示す指数で低い方が望ましい
- 財政力指数 0.71
  ＊財政力指数とは…財政力を判断する一般的な指数である。指数が1.0に近づくほどに財政力に余裕があるといえる

令和7年度一般会計決算では、町税収入が前年度を上回るなど歳入確保に努めるとともに、物価高騰や社会保障関係経費の増加に対応しながら、健全な財政運営を維持しました。一方で、経常収支比率は88.8%となり、人件費や物件費の増加などにより財政運営を取り巻く環境は厳しさを増しています。

物価高騰対策では、国の重点支援地方創生臨時交付金を活用し、「しめPay」の発行額増額や省エネ家電購入促進事業を実施しました。また、こども医療制度の拡充や学校給食費の無償化（令和8年1～3月分）など、子育て支援の充実にも取り組みました。

さらに、小中学校体育館への空調設備整備や町民センター大規模改修工事の完了により、教育環境や公共施設機能の向上を図りました。今後も限られた財源を効果的に活用し、持続可能なまちづくりを推進してまいります。



世利 良末町長

シメッチャ家の

収入（歳入）

収入項目	令和7年度		令和6年度
基本給与（町税）	163万円	↑	154万円
パート収入（分担金･負担金など）	20万円	↑	17万円
貯金の引き出し（繰入金）	16万円	↑	10万円
昨年からの繰越（繰越金）	25万円	↑	18万円
親からの仕送り（地方交付税）	113万円	↑	109万円
親からの特別な仕送り（国･県支出金）	141万円	↑	127万円
銀行からの借り入れ（町債）	45万円	↑	44万円
友人からのご祝儀（寄付金）	12万円	↑	10万円
合　計（総額214億4,440万円）	536万円		488万円

決算委員会のチェックポイント

議会から全課に左記の項目を要請

- 決算の資料は全課統一様式
- 新規事業は、詳しく説明を
- 歳入・歳出・決算額100万円以上のものは詳しく説明を
- 執行率90％以下の事業については理由を詳しく説明
- 公共施設個別施設計画により実施した事業、議会の議決を得て実施した工事は、竣工後写真を用いて説明を



決算委員会

7年度事業の成果と効果をしっかりチェック

主な19事業について掲載しています。



3ヵ年に及ぶ工事が完成！町民のつどいの拠点

令和7年度町民センター改修工事
13億889万円

- 総　額　29億895万円
- 地方債　24億2,590万円　※地方債の一部は、のちに交付税措置される
- 実質町負担見込額　21億3,758万円



町民センター改修中視察



議会も工事経過を視察



町民センター外観



サクラみらいホール

すべての小中学校体育館にエアコン設置完了

学校体育館空調機設置等事業
5億7,752万円

エアコン整備で避難所機能向上と熱中症対策

- 地方債　5億7,590万円　※地方債の一部は、のちに交付税措置される
- その他　162万円
- 実質町負担見込額　1億7,413万円



東小体育館



南小体育館

「のるーと志免」増車で利便性向上

オンデマンドバス運行事業
7,856万円

- オンデマンドバス運行負担金　3,925万円

※運行費用から運賃収入額(453万円)を差し引いた欠損額を町が負担

- オンデマンドバス運行支援業務委託料　1,552万円
- 公用車購入費　1,571万円

※3台から5台に車両を追加

- 県補助金　1,000万円
- 「空港周辺環境整備事業」に掛かる補助金　628万円

議員　利用者の利便性向上のため一部車両を循環バス方式にしては。

答弁　今後は都市計画や地域開発の進展に合わせて公共交通体系全体の中で検討する。



産後ケアサービスの拡充

産後ケアサービス委託料　**368万円**

産後ケア利用料の自己負担費用の助成で利用しやすく

水鉛公民館完成

水鉛公民館新築工事　**1億285万円**



水鉛公民館

CO_2削減の取組

省エネ家電購入促進補助　**2,491万円(522件)**
ECOチャレンジ応援事業　**149万円(573世帯)**

地球温暖化対策を強化





脱炭素啓発イベント

洋式化で気持ちよく志免南保育園のトイレ

志免南保育園トイレ改修工事　**792万円**



改修前園児用トイレ



改修後園児用トイレ

ふるさと納税、選ばれるまちへ
寄付額　4億5,516万円

ふるさと納税推進事業　**2億4,420万円**

- ふるさと納税事務代行委託料　1億9,288万円（返礼品を含む）
- ポータルサイト利用料　5,094万円

議員　寄付額は増えているが、他自治体へのふるさと納税額も増えている。

答弁　志免町も他自治体に負けないよう、より魅力のある返礼品を開発する。

スポーツでつながる、元気なまちへ

スポーツイベント(スポーツフェスタなど)開催事業　**499万円**

- 運営委託料　139万円
- 会場設営委託料　214万円

部活動地域移行の実証費

中学校部活動地域移行推進事業
967万円

両中学校から6つの部活動を選定し、休日（土・日・祝）の活動を「学校部活動」から「地域部活動」への移行

議員　会費の保護者負担はないのか。

答弁　現状では会費は求めない。

志免町商工会発行のしめPayで町の商業を応援

商品券発行額　**1億7,994万円**
販売額　**1億5,000万円**

プレミアム分(20%)
県負担(10%)　1,497万円
町負担(10%)　1,497万円

住民の窓口手続きの利便性向上

ネットワーク及びシステム機器リース料
1億9,168万円
ネットワーク及びシステム改修業務委託料
1億6,030万円

町の下水道の安全を守るために

下水道築造工事(吉原地区)	5,453万円
下水道管布設工事(向ヶ丘2丁目)	1,253万円
マンホールポンプ工事	2,122万円
下水道用マンホール鉄蓋取替工事(65箇所)	2,255万円


マンホールポンプ更新工事


吉原地区下水道築造工事

シーメイト屋上・屋根防水補修

屋上防水シート張替え・玄関ひさし補修工事
865万円


屋上防水シート張替の様子


屋上防水シート張替完了

快適な給食環境に

志免中学校給食棟空調機取替工事
2,255万円

生徒と給食調理員の熱中症予防と、快適な室内環境の確保


室外機の改修前


室外機の改修後

決算特別委員会　正副委員長コメント



初めて決算特別委員会副委員長を拝命し、緊張しましたが、安河内委員長の下で委員会中は大変有意義な時間を過ごすことができました。審査においては、町税や補助金の使途や成果を議会で精査することができました。この経験を議員活動に活かしてこれからも頑張っていきます。

副委員長　野中 秀樹

町議会議員になり4回目の決算委員会をむかえ、この度は委員長を拝命し、昨年の副委員長という立場より一段と気を引き締めて臨みました。翌日の委員会において活発な議論が行われるよう、毎晩決算書とにらめっこの日々でした。今回はより深く、昨年度の町の取り組みを振り返ることができ、自己研鑽も深めることができました。この経験を活かしこれからも、町民の皆様に寄り添う議員であるよう努力し、今年度も“町民生活のために”を基本とした財政運営がなされるよう、行政と議会がともに手を携え精進してまいります。

委員長　安河内 祐子

臨時会・9月定例会・意見書

第４回 町議会（臨時会） 令和8年7月13日

工事請負契約の締結

志免町民体育館改修工事
一般競争入札 …… 契約金額 8億9,211万円 全員賛成 可決
- 株式会社飯田工務店

志免中学校給食棟空調機取替工事
指名競争入札 …… 契約金額 6,006万円 全員賛成 可決
- 株式会社エアーテック志免営業所

財産の取得

小型動力ポンプ積載車1台（第6分団配置）
指名競争入札 …… 契約金額 1,474万円 全員賛成 可決
- 愛知ポンプ工業株式会社

令和8年度 一般会計補正予算

711万円を追加⬆ 総額 190億8,744万円 全員賛成 可決

歳入 **物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金** …… 1,850万円
- 一部を小学校給食費の財源に充てるもの

歳出 **商品券事業補助金** …… 500万円
- 商工会支援事業・しめpayの発行額増額

がん検診等事業 …… 211万円
- 大腸がん検診の受診率向上を目的に、志免町在住の40歳から69歳までの約1万9,000人を対象に受診奨励ハガキを郵送

第5回 町議会（9月定例会） 一般会計補正予算

予算常任委員会は9月9日に集中審議し、すべての補正予算を可決しました。

令和8年度 一般会計補正予算

8,509万円を追加⬆ 総額 191億7,253万円 全員賛成 可決

町のお金どうなった??（主なものを掲載）

歳入 **普通交付税** …… 2,941万円の減⬇

歳出 **指定ごみ袋制作委託料** …… 350万円の増⬆
- 中東情勢の悪化等により、製作単価が上昇したため、不足分を追加製作

意見書

非核三原則の堅持を求める意見書

賛成多数 可決

賛成者 大西、丸山（真）、藤瀬、小森、稲永（隆）、岩下、安河内、野中、佐藤、稲永（義）、荒牧
反対者 牟田口

現在、安全保障関連３文書の改訂に向けた議論が与党内で開始されているが、非核三原則を将来にわたって断固として堅持されるよう強く要請する。

提出先 ●内閣総理大臣 ●外務大臣 ●衆議院議長 ●参議院議長

条例の制定・改正

条例の制定

志免町の町長・議員の電子投票を行うための条例の制定

賛成多数 可決

志免町の議会議員及び長の選挙において、電磁的記録式投票機を用いた投票（電子投票）を実施することができるよう、必要な事項を定めるもの。

賛成者 大西、丸山（真）、牟田口、藤瀬、小森、稲永（隆）、岩下、佐藤、荒牧

反対者 安河内、野中、稲永（義）

反対討論 安河内 電子投票の導入は、開票作業の負担を減らす一方、システム費や投票所の人員増により選挙費用の増加が見込まれ、その上高齢者や障がい者への対応、安全性の懸念など課題が多いと思います。今後検討は必要だと思うが、時期尚早と考えるため議案に反対します。

反対討論 野 中 今の紙投票は、今後改善されてゆくべきだとは感じていますが、来春の統一地方選挙導入には時期尚早と考え反対します。

賛成討論 藤 瀬 電子投票は、無効票の防止や投票・開票の負担軽減などが期待されます。一方、議決前に実施が決まったかのような報道が先行したことは大変遺憾です。議会との信頼関係を大切にし、安全性・信頼性・公平性を確保するとともに、投票しやすい環境づくりと主権者教育の充実を求めます。

賛成討論 稲永（隆） 選挙事務に従事する選挙管理委員及び職員の負担が大幅に軽減されます。
開票作業は40人程の職員で約4時間かかりますが、電子投票を導入した他自治体の選挙では、10人程の人員で約1時間と聞いています。

賛成討論 荒 牧 電子投票は、選挙事務や開票時間の短縮だけでなく、紙投票で生じる誤字脱字や「頑張ってください」などの記載による無効票を減らすことができます。支持する候補者への一票を有効票として反映でき、公平性の向上にもつながるため、賛成します。



タブレットによる投票イメージ

条例の改正

性暴力防止対策や保育体制の充実を図るための条例の改正

全員賛成 可決

主な改正事項は4点

1. **子どもへの性暴力防止**
   教育・保育等を提供する事業者に対し、従事者による児童に対しての性暴力の防止・児童対象に従事する者の犯罪事実確認等の実施が義務付けされる。
2. **家庭的保育者の範囲の拡大**
   福岡県の地域限定保育士を家庭的保育者の資格に追加。
3. **理学療法士等のみなし保育士化**
   一定の要件を満たす専門職を1人に限り保育士とみなすことができるようになる。
4. **職員の配置基準の経過措置を改正**
   職員の配置基準を、満3歳以上満４歳未満は20人に1人から15人に1人に改正され、経過措置が当分の間となっていたが、今回、令和10年3月31日までに改正された。

総務文教常任委員会

開催日　7月17日、8月3日、9月1日



宮若市石炭記念館にて



宮若市石炭記念館視察

歴史資料館の開設を前提に、視察と活発な意見交換

先進地の歴史資料館2施設を視察

7月17日、今後の参考とするために、宮若市石炭記念館と鞍手町歴史民俗博物館を視察した。

宮若市石炭記念館は、旧小学校を活用した施設で、石炭産業や地域の歴史に関する資料を保存・展示し、学習や研究の場として活用されていた。課題は施設の老朽化や若年層への周知とのことであった。

鞍手町歴史民俗博物館は、令和7年5月にリニューアルオープン。展示では、炭鉱の歴史や採掘の様子を後世に伝える取組みが行われるとともに、地域の暮らしや文化を学ぶ内容になっていた。

両施設とも、地域の歴史や文化を保存・継承するとともに、学びや交流の場として活用されていた。資料の収集・保存から展示、情報発信まで様々な工夫がされており、大変参考になった。

活発な意見交換

8月3日は、意見交換を行い、委員からは未来を担う子どもたちをはじめ、町民が地域の歴史を知り、郷土への誇りを育むことは重要であり、歴史資料館は世代を超えた交流や学びの場として必要との意見が出た。

9月1日は、まちの魅力推進課より、6月1日の町長の答弁以降の現況の報告を受けた。担当課として文化財の数量や展示内容、候補地等の調査を進め、**町長に示すためのプランを作成している**とのこと。

委員会より

町長はリーダーシップを発揮され、早期に(仮称)歴史資料館開設の方向性を示していただくように要請した。



鞍手町歴史民俗博物館 館内視察



鞍手町歴史民俗博物館にて

厚生建設常任委員会

開催日　7月21日、8月21日、9月1日

もっと便利に！「のるーと志免」のさらなる利便性向上を目指して

町民の暮らしを支える地域公共交通として「のるーと志免」が導入から2年が経過した。町民のニーズに沿った地域交通として運行されているかを確認するため、利用状況や課題、今後の展望について調査を行った。

利用者増加に対応し車両を増加

7月21日、都市整備課より令和8年6月時点の登録者数が4，971人、1日平均利用者数が146人となり、車両を3台から5台へ増車したことで予約対応件数や利用者数が増加するなど、サービスの定着が進んでいるとの報告を受けた。



厚生建設常任委員会の様子



「のるーと志免」の車内

利用者の声を活かした地域公共交通を目指して

8月21日、委員会では、「何を、いつまでに検討し、いつ方向性を示すのか」を明確にした取組みが必要であるとの認識のもと、日頃の議員活動を通じて寄せられた町民の皆さまの声を踏まえ、「のるーと志免」のさらなる利便性向上に向けて、次の項目について協議を行った。

- 休日やイベント時の運行
- 運行時間の延長
- アプリの利便性向上
- バス停名称の見直し
- 空港や他自治体との接続
- ミーティングポイントの改善
- ネーミングライツの推進

【実績数値比較】

	増車前	増車後	計
運行回数	539	164	703
当日以前予約	36,918	14,390	51,308
当日予約	7,815	8,664	16,479
当日以前予約割合	82.5%	62.4%	
当日予約割合	17.5%	37.6%	-
乗車人数	44,733	23,054	67,787
平均乗車人数(人/回)	83.0	140.6	96.4

●増車したことで乗車余裕ができ、当日予約が取りやすくなっている。（割合 約2.1倍）
●乗車可能人数が増えたため、平均乗車人数増。（約1.6倍）

【乗降地点利用割合比較】

増車前 乗車地点ランキング	乗車人数	割合
11 シーメイト	2,681	5.99%
13 下志免(西向き)	2,375	5.31%
14 下志免(東向き)	1,492	3.34%
158 サンリヤン	1,337	2.99%
109 向ヶ丘	1,185	2.65%

増車後 乗車地点ランキング	乗車人数	割合
215 イオンモール福岡	2,494	10.82%
13 下志免(西向き)	1,068	4.63%
11 シーメイト	868	3.77%
158 サンリヤン	661	2.87%
14 下志免(東向き)	600	2.60%

増車前 降車地点ランキング	降車人数	割合
11 シーメイト	3,413	7.63%
14 下志免(東向き)	3,225	7.21%
13 下志免(西向き)	1,415	3.16%
7 志免体育館(東向き)	1,382	3.09%
158 サンリヤン	1,368	3.06%

増車後 降車地点ランキング	降車人数	割合
215 イオンモール福岡	2,537	11.00%
11 シーメイト	1,245	5.40%
14 下志免(東向き)	1,174	5.09%
158 サンリヤン	867	3.76%
2 志免役場前(東向き)	665	2.88%

●イオンモール福岡に乗り入れ開始後、イオンモール福岡が常に上位をキープ。
●下志免(ルミエールそば)、シーメイト、サンリヤン(地下鉄空港駅最寄り)は増車後もランクイン。

増車前後実績値比較



利用者数・1日平均利用者数

委員会より

現状にとどまることなく、町民の利便性向上と公共交通ネットワークの充実に向け、引き続き調査・研究を進める。今後も利用者の声を大切にしながら、「のるーと志免」がより利用しやすい地域公共交通となるよう、具体的な提言につなげていく。

議会運営委員会

開催日　7月28日、8月31日

令和8年 第5回 定例会（9月議会）

会期は9月4日から17日までの14日間とする。

一般質問は5名。また議案付託は10議案。請願、陳情、意見書については、最終日に「非核三原則の堅持を求める意見書（案）」が提出される。人事案件は教育委員会委員の任命1件、志免町選挙管理委員会委員4件及び同補充員4件も最終日に提案される。



委員会室からの避難訓練

議会防災訓練の実施

9月1日に委員会審査中の避難行動として、委員会室からの避難訓練を実施することに決定した。

クールビズ実施

定例会でのクールビズとして、68ポロシャツ、議会ポロシャツ等の着用日を決定した。



68ポロシャツを着用

議会広報常任委員会

開催日　7月27日

視察受け入れ　●長崎県長与町議会

視察内容『議会活動に係る広報及び広聴活動について』

議会広報の編集方針、発行時の申し合わせ事項、制作マニュアルの説明とあわせてSNSを活用した情報の発信や運用要綱等の説明を行った。最後に、質疑応答や委員会活動の状況など活発な意見交換・情報交換を行い、両議会の交流を深めることができた。



長与町議会のみなさんと

議会改革特別委員会

開催日　7月14日、9月1日

視察受け入れ　●宮城県加美町議会

視察内容『議会PR動画を活かした取り組みについて』

議会改革や、議会をより身近に感じてもらうためのPR動画の取組みの説明を行った後、それぞれの議会における取り組みや課題について、活発な意見交換・情報交換を行い、交流を深めることができた。



加美町議会のみなさんと

議員報酬のあり方について

議員の活動実態、町民の皆さまのご意見、さらに有識者の見解を総合的に検討し、12月を目途に提言する予定

イベント出展について

11月1日に開催される商工まつりに、議会ブースを出展する。

ご来場の皆さまを対象としたアンケート調査や相談窓口を設け、町民の皆さまの声を直接お聴きし、今後の議会活動に反映していく。

あわせて、議会ブースをより分かりやすく、親しみやすいものとするため、インタビューボードやのぼりの作成についても協議を行った。



「インタビューボード」と「のぼり」

シーメイト調査研究特別委員会

開催日　9月1日



「シーメイト在り方に関する提言書」を提出

7月13日「シーメイトの在り方に関する提言書」を町長へ提出

(委員会活動期間：約3年間・計16回の委員会を実施)

【審議内容：委員会のまとめ】

1. 提言書について

7月13日、町長へ提出したことを報告

2. 今後の予定について

9月議会を区切りとし、解散することを決定。

しかし、シーメイトに関する事業は、町の将来にとって非常に重要であり、多くの町民の皆様から、大きな期待が寄せられていることを踏まえ、議会としても今後も注視していくことを決定

シーメイト委員会設置の経緯と目的



①建築から20年を経過したシーメイトについて、多様化する社会情勢や町民ニーズの変化を踏まえ再検討・再確認する時期に来ていると考えるため。

②シーメイト周辺には、竪坑櫓やボタ山といった志免町を象徴する歴史資源に加え、多目的広場やグランド等の施設も隣接しており、スポーツ・文化・歴史を含めた広域的かつ複合的な機能を有するエリアとなる「町のランドマーク」として町民に親しまれ、交流人口の創出や地域活性化への寄与と経済的に持続可能な施設運営へと発展させることが大切と考えるため。

③施設の持つ役割や将来的な方向性を踏まえれば現在の所轄体制・担当課の在り方についてや指定管理者制度の導入も含めた民間活力の活用を協議・検討する必要があると考えるため。



シーメイトに関するアンケート



シーメイトの施設改善提案書(案)

シーメイト調査特別委員会のあゆみ

令和5年12月	・シーメイト調査研究特別委員会を設置
	・シーメイトに関し、現状確認のためアンケート調査を開始
	・性別や世代の偏りがないようにアンケート調査。結果2,072名もの多くの回答・声を得ることができた。 ＊この調査結果は、各議員が日々の活動の中で地道に足を運び、取り組んだ成果である
令和7年5月～6月	・2,072名からいただいたアンケートの分類・分析を開始 主な項目：利用の有無・回数・目的、居住地、来館の交通手段、シーメイトに期待すること
令和8年6月	・アンケートの分析をうけ、提言書(素案)を作成し、計10回の議員間討議を経て、委員会として意見をまとめ、提言書完成
令和8年7月13日	・「シーメイトの在り方に関する提言書」を町長へ提出
令和8年9月	・今議会をもって解散

＼ズバリ／ 町政を問う！

14P-15P

藤瀬 康司 議員
① 本町の防災体制について

安河内 祐子 議員
① さらなる災害対策の強化を提案する

16P-17P

丸山 真智子 議員
① 自助・公助・共助の強化が重要

小森 弘美 議員
① 見守り活動者の安全確保を
② 搾乳環境整備と利便性向上

大西 勇 議員
①「平成の森公園」の保存活用
② 地域貢献を評価する入札制度

- 一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。
  質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で※1問1答で行います。
  ※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法

- 会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

藤瀬（ふじせ） 康司（やすし） 議員



こちらから一般質問の動画が視聴できます

問 令和2年7月豪雨の際にも熊本・球磨村を訪れ、防災ボランティア活動に参加した。そして、今回も熊本地震の被災地にも入り、ボランティア活動に参加した。熊本地震を町長はどのように感じているのか。

答 志免町に置き換えて、災害がいつ起きるか分からない。しっかりと志免町としても対応をしていきたい。

問 本町の計画が本当に機能するのか検証することが重要だ。今回の熊本地震を一つの教訓として、地域防災計画や避難所運用体制について改めて点検や検証を町長は指示したのか。

答 地域防災計画やマニュアルは今後見直しを予定している。

問 学校体育館の空調の設備が整備されて、災害時の避難所としてのことも踏まえ、トイレカーの導入を検討する考えは。

答 トイレカーは非常に大事だと思う。庁舎の改修計画で保管場所をしっかり確保できることができれば、トイレカーは必要だと思っている。前向きに検討したい。

問 大規模地震では停電と通信障害が発生することも想定をしておかなければならない。指定避難所の備、非常用電源、Ｗｉ－Ｆｉ、災害用トイレ、備蓄、バリアフリー、ペット避難の可など、一覧で確認ができる避難所詳細マップなど整備をしたらどうか。ハザードマップや町のホームページなど、町民が平時から確認できるようにできないか。

答 今後の検討課題とさせていただきたい。

一般質問

本町の防災体制について

町長 しっかりと対策していきたい



熊本震災で倒壊した家

問 活用もその目的の一つだとされている。停電時も利用は可能か。

答 自立型発電機能を備えたガス空調設備を導入しており、停電時においても使用することが可能。

問 携帯トイレや簡易トイレを備蓄することも当然だが、必要な場所へ移動して使用できるトイレカーも有効的な災害対策の一つ。トイレ車両が被災地支援に活用された

問 Wi-Fi環境の整備は。

答 指定避難所44か所のうち計24か所はWi-Fi環境が整備されている。

問 残り20か所の公民館長へWi-Fi導入の声掛けはしているのか。

答 公民館のほうに働きかけは行っていない。交付金を交付して設置していただくようになっている。



トイレカーのイメージ

さらなる災害対策の強化を提案する

町長 災害対応強化に終わりはない

安河内(やすこうち) 祐子(ゆうこ) 議員



こちらから一般質問の動画が視聴できます

問 町の土砂災害警戒区域等の整備、改善、改良は進んでいるか。

答 整備は順次進んでいる。

問 前年度、重点的に行われた道路冠水対策は。

答 計画に沿い、特に効果が大きいであろう箇所から対策を行っている。例えば東公園台や志免城戸、志免中央付近等。

問 町が行っている防災出前講座等により、住民の防災意識に対して向上はみられるか。

答 年々防災出前講座の参加人数も増加しており、また小学5年生で総合的学習の時間に学び、幅広い世代の方々の防災意識は向上していると考える。

問 道路冠水による被災車両の移動に対し、町の対策は。

答 災害対策基本法のもと、警察と連携して行う。

問 議会から以前も一般質問した建物耐震診断の普及と実績は。

答 広報活動に努めているが、本年度は現在までに4件の実施。

問 耐震化推進への対策は。

答 耐震化改修や、古い住宅の建て替えや除却にも補助金を出す取組みも行ったところ、今年度予算は全てなくなり終了した。

問 それだけ多くの必要とされる町民の希望があるようなので、町長、来年度は補助金をアップし、より耐震化を進め、防災減災につなげてもらいたいと思うが。

答 この予算については、しっかりアップさせていただきたい。

問 災害時、土砂や家財などの災害ごみの置き場については。

答 災害ごみ仮置き場を設置する。

問 充分足りるのか。

答 町だけで足りない際には、他の自治体とも連携を視野にいれて考える。

問 建物被災後の、町民の居住に対する町の考えは。

答 当初は体育館や公民館などが避難所になるが、その後は仮設住宅などを速やかに建てる。それが十分に供給できない場合は、広域的な支援をいただく必要もあるかもしれない。

問 地域住民の協力体制こそが一番大切。具体的取り組みは。

答 まずは自助に努めていただくことが大事だが、限界があるので共助の一番の活動母体である、自主防災組織の活動に対しての色々な支援を、これからも継続して行っていきたい。



過去志免町で起きた災害

ズバリ 町政を問う!

丸山真智子（まるやまちこ）議員

こちらから一般質問の動画が視聴できます



自助・公助・共助の強化が重要

町長　共助は地域で顔の見れる関係を

問 令和8年熊本地震、千葉豪雨など災害が続いている。行政だけでなく、住民の皆さんと共にどう備えるか対策について質問する。

熊本地震被災地の避難所の報道を見ると、雑魚寝状態が映し出されていた。志免町で避難した場合、プライバシーは守れるのか。

答 各避難所にはテントやベッドを備え、プライバシー保護のレイアウトになっている。



防災食講座



防災食

問 住宅の除却費が令和8年度から始まったが、耐震化補助率を上げ、補助総額も上げるべきでは。

答 町民の意見を踏まえ、耐震改修補助に加え、建て替え等に伴う除却工事補助を新設したら、既に4件ある。今後、総額は検証する。

問 災害時の食はとても大事。災害関連死にもつながる。町が備蓄品として備えるのも大事だが、備えない防災「フェーズフリー」として、暮らしの中にもしもの備えを組み込んでおく考え方がある。例えば、ポリ袋を用意しておけばご飯ができる。自助・共助につながる防災食講座を町が主体的に実施すべきではないか。自主防災組織に案内をして欲しい。

答 いろいろなやり方はあるが、メニューの一つとしては可能。

問 生活に欠かせないインフラである水道施設の貯水、浄水、配水施設の耐震化は進んでいるのか。水道ビジョンでは耐震化を進めるとなっている。

答 貯水施設は1か所で耐震化率は0%、浄水施設は100%、配水池は46%。耐震化は、耐用年数があるので施設の更新時に行う。

問 管路の耐震化は、災害拠点病院や避難所の重要施設へつながる管路を優先的に強化すべきだが志免町ではどうなっているのか。また、基幹管路の耐震適合率は。

答 基幹管路の耐震適合率は81.9%。重要施設への管路の耐震化は福祉避難所でもあるシーメイトに接続する配水管に対し耐震化を進めている。



配水管の耐震化

問 千葉豪雨では、道路冠水で、車が動けなくなった。志免町では対策はできるのか。

答 通行に支障がある場合は、警察と連携し通行止め等を実施する。

問 自主防災組織が始まった時、防災備品などが配布されているが、時間が経っているので現状把握が必要ではないのか。

答 現状把握は必要と思う。

その他の質問

- 不要衣料の回収について

文科省の登下校の見守りハンドブックを参考にし、学校運営協議会、学校、地域との連携の場を通して情報の共有を行っていきたい。

問 見守り活動中に熱中症で倒れた場合の保証制度の整備は。

答 町内会等が実施している見守り活動については、自治会活動保険が対象になる場合がある。

問 地球温暖化の影響により酷暑が連日続く中、地域の方や高齢者の方々が登下校の安全を守るために街頭に立ち続けてくださっている。見守り活動者における熱中症に対する安全管理基準、ガイドライン等の整備はできているか。

答 各自熱中症対策を行うとともに、無理のない範囲で活動いただいていると認識している。

小森弘美（こもりひろみ）議員

こちらから一般質問の動画が視聴できます



搾乳環境整備と利便性向上

町長　改修に合わせ十分に検討する

問 志免町庁舎大規模改修においてユニバーサルデザインの視点はどを隣接して配置するなど利便性を高めるレイアウトを検討してみてはいかがか。

答 今後設計段階で検討していく。

答 先進自治体の事例も参考にし研究していく。



一般質問

「平成の森公園」の保存活用

大西勇（おおにしいさむ）議員



こちらから一般質問の動画が視聴できます

町長 地域と行政一体となり取り組む

問 平成の森公園は豊かな自然に加え御手水の滝、十三番札所お堂石仏、松ノ尾古墳、大日如来と刻まれた石碑とそこに吉原の若衆24人が建立と彫ってある。つまり約670年前に吉原村に若衆と言う自治組織があったという事。一方、滝周辺のお堂や石仏等は、所有者が不明であり老朽化が進んでいる。ここは町の大事な文化資源として積極的に保存に関わっていくべきだと思っているが。



御手水の滝横のお堂と倒壊寸前の灯篭

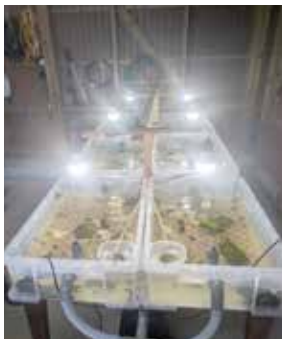
答 今後、吉原の方にお尋ねし協議検討して行きたい。



左の板石碑には大日如来と刻まれ吉原24人若衆の建立と刻まれている

問 公園には、かつて数百匹のホタルが森の中を飛び回る幻想的な風景だった。しかし、年々減少し今年は特に少なくなっている。このままでは蛍が消えるのではと心配している。そこで蛍の餌になるカワニナの生息環境の改善と、学校・地域・行政が連携し、教育の一環として子どもたちが自然や歴史を学びながら公園を守っていくという仕組みを作る事が大事だが。

答 今後、地域と行政と学校が一緒になって保存活動をしていきたい。



牛頸地区のホタルと餌のカワニナの飼育現場

地域貢献を評価する入札制度

町長 しっかり調査研究していく

問 地元の業者は、町の道路や水道、電気、施設などの整備に関わるだけではなく、災害が発生した場合には、行政と連携して復旧活動を行い地域の安全を守っている公共工事は、町民の大切な税金を使って行われる事業である。もちろん価格は抑えることが大切である。

しかし、価格だけを追求することで地元の企業が疲弊し災害時に地域を支える力が失われてしまえば結果、町の大きな損失になる。

反対に地域業者を大切に評価することができれば地域経済の活性化や災害時の地域力にもつながるため、地域貢献度を加えた総合評価落札方式制度の導入を検討してはどうか。

答 しっかり調査研究をして行く。

見守り活動者の安全確保を

町長 先進自治体の事例を研究



朝の見守りの様子

問 AI見守りカメラや通学路防犯カメラの導入は考えているか。

答 検討はしていない。

問 国や県には、ICTを活用した子どもの見守りシステムの導入を支援制度もある。福岡市は、「オッタバイ」というIoTを使った見守りサービスを導入している。志免町でも検討できないか。

答 重要な要素と位置付ける。

問 今回の改修において、搾乳ができる環境整備の検討はされるのか。

答 庁舎の改修に合わせて十分に検討していきたい。

問 子育て世代が庁舎を利用する時、授乳室、搾乳室、ファミリートイレのように位置づけているか。



子育て世代が利用しやすいレイアウト



議長
丸山 卓嗣

9月議会を振り返って

今定例会での大きな議案は、電子投票に関する条例と令和7年度決算審査でした。

電子投票については、公平性や安全性など、さまざまな視点から議論が交わされました。「時期尚早」という慎重な意見もある中、賛成多数で可決され、来年の志免町長・町議会議員選挙から導入される予定です。「政治や選挙に関心を持ってもらうこと」「一票を投じやすい環境をつくること」。電子投票は、そのための一つの手段だと考えています。

令和7年度決算では、町民センター改修や小中学校体育館の空調整備など、大きな事業が形になりました。「整備して終わり」ではなく、その効果をしっかりと検証し、次の予算、次のまちづくりへつなげていく。改めて、決算審査の重要性を感じた9月定例会でした。

議長活動報告

令和8年6月～令和8年8月

日　程	件　名
6月　1日	志免町食品衛生協会・飲食店組合　合同定期総会
5日	糟屋地区交通安全協会志免支部総会
13日	シニアクラブ連合会大会
14日	志免町消防団ポンプ操法大会
26日	粕屋農業協同組合総代会
7月　1日	筑紫野古賀線道路建設促進期成会
1日	福岡外環状線建設促進期成会
5日	志免町文化協会創立40周年記念式典・祝賀会
6日	多々良川水系改修事業促進協議会
6日	次期ごみ処理施設整備・運営事業に関する協定書の調印式
10日	福岡都市高速道路整備促進期成会総会

日　程	件　名
7月　23日	糟屋地区議長協議会
27日	都市計画道路志免宇美線道路建設促進期成会総会
30日	多々良川流域下水道促進協議会
8月　2日	糟屋地区ポンプ操法大会
3日	粕屋南部消防組合議会議会運営委員会
17日	福岡都市圏議長会総会
20日	粕屋南部消防組合議会
23日	第14回 しめ夏まつり
24日	教育支援センター開所式
28日	福岡地区水道企業団決算議会

議会研修報告

福岡県市町村議員研修会

日時・会場：8月3日㈪ ホテル日航福岡にて

第一部

演　　題：議員活動に活かせるパワーハラスメント対策
～より良い議員同士の関係に向けて～
講　　師：(株)メンタル・リンク
代表取締役社長・公認心理師　宮本 剛志 氏
研修目的：ハラスメント(特にパワハラ)に対する理解を深め、議員活動に活かす事。ハラスメントの実態・状況を知り、ハラスメントにならないコミュニケーションの一部を体験的に理解し、議員同士で協力しあえる議会づくりに活かすこと。

第二部

演　　題：インターネット上の人権侵害等
違法・有害情報における課題と対策
講　　師：違法・有害情報相談センター 副センター長 牛腸 綾香 氏
研修目的：インターネット上の違法な情報や違法ではないが有害な情報を知ること。また、自分の権利を侵害する投稿を見つけた場合の対応方法と相談窓口を知ること。

研修対象：全議員　　**出席議員**：全議員出席

議会常任委員会・正副委員長研修会

日時・会場：7月28日㈫ 13時～15時
志免町役場 4階 委員会室にてオンライン参加
演　　題：委員会の運営について
講　　師：全国町村議会議長会 議事調査部 参与 平野 誠 氏

研修対象：常任委員会・正副委員長
出席議員：対象議員 全員出席

福岡県町村議会議員研修会

日時・会場：8月18日㈫ 13時30分～15時 福岡国際会議場にて
演　　題：議員報酬の適正化について
講　　師：全国町村議会議長会 議事調査部長 松浦 貞治 氏

研修対象：全議員
出席議員：12名出席

福岡県町村議会1期生議員研修会

日時・会場：8月27日㈭ 13時～15時 福岡県自治会館にて
演　　題：地方公会計の基礎的知識について
講　　師：塩塚公認会計士事務所 所長 塩塚 正康 氏

研修対象：1期生議員5名
出席議員：1期生議員全5名出席

いいね! 志免町

志免町社会福祉協議会





生活支援に関する話し合いの様子
（成和公民館）

志免町社会福祉協議会とは

社会福祉協議会（以下、社協）は、地域福祉の推進を目的とした民間団体で、各種関係機関や行政等と連携し、町内会等を単位とした福祉活動の推進、ボランティアの養成や支援、全世代を対象とした福祉教育の推進、福祉団体組織化の支援、生活に困窮されている方々等の相談支援などを行っています。

現状と課題について

近年、つながりの希薄化が全国的な課題としてあげられていますが、頼れる人がいない、困った時に相談できる相手がいないといった方々も増えてきています。もう少し早く相談をしてくれればと思うケースも多いため、小さい単位のネットワークづくりを今後も進めていく必要があると考えています。

また、赤い羽根共同募金や賛助会費、寄付金は地域活動を進めていく上での大切な財源となっています。是非、皆さまのご理解とご協力をお願いしたいと思います。

今後の展望について

社協の使命である地域福祉の推進に向けて、住民のライフスタイルや生活をしていく上での課題（ニーズ）は時代と共に変化していきます。様々なニーズに対応していけるよう、地域の方々や各種関係機関とのつながりをより一層拡げ、このまちに住んで良かったと思える住民を一人でも増やしていきたいと思います。

議会や町に期待すること

社協活動を進めていくためには、志免町議会と志免町役場の力も重要な要素となりますので、是非社協の応援団となっていただき、一緒に「ふくしのまちづくり」を進めていただけると幸いです。

議会より

志免町の温かな地域力を未来につなげていくため、議会としても社協や地域の皆さまと力を合わせ、「このまちに住んでよかった」と感じられる福祉のまちづくりを応援してまいります。

編　集　後　記

9月議会閉会後、すぐに118号作成に着手しました。

議会広報委員8人で力を合わせ、「手に取り、読みたくなる議会だより」になるように懸命に努めています。議会だよりは、議会を「見える化」するために大事なツールです。読者である町民の皆さまに、私たちの思いは伝わっていますか？ 感想をお寄せいただいたら嬉しいです。

丸山（真）

議会広報常任委員会

委員長　荒牧　裕樹
副委員長　小森　弘美
委員　丸山 真智子　野中　秀樹
藤瀬　康司　佐藤　貴士
安河内 祐子　稲永　義美

発行責任者　議長　丸山　卓嗣

Instagram　Facebook　YouTube

議会の情報を発信中！



お知らせ

お気軽に傍聴にお越しください。

次回の定例会は 12月4日㊎予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しください。
手話通訳（要申込み）、車椅子席もあります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262　FAX 935-7070
メールアドレス　gikai@town.shime.lg.jp

議会事務局は町役場4階です。

志免町議会年末感謝祭

音楽でつながる　笑顔あふれるひととき

志免吹奏楽団
議場コンサート

～素敵な音色を議場で～

入場無料
どなたでも
ご来場いただけます



令和8年 **12月12日(土)**

14:00 開演　開場 13:30

会場　志免町役場 4階 議場

日頃のご支援に感謝の気持ちを込めて、
志免吹奏楽団による議場コンサートを開催します。
音楽の力で心あたたまるひとときを
ぜひお楽しみください。

申込はQRコードで

事前申込にご協力ください。

申込期限：11月30日(月)

主催：志免町議会

申込みは定員になり次第受付終了とさせていただきます。

しめ議会だより　NO. 118

●発　行　福岡県志免町議会
●編　集　議会広報常任委員会（〒811-2292 福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1-1）
●発行日　令和8年11月1日　　●印　刷　株式会社三光

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

FSC ミックス
紙 | 責任ある森林管理を支えています
FSC® C086357

VEGETABLE OIL INK